

税の更正の請求書

_____ 税務署長殿 (前納税地 _____)

_____ 住所又は所在地 _____

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日提出 納税地 _____

フリガナ 氏名又は名 称 _____ 印

(法人等の場合) 代表者等氏名 _____ 印

職 業 _____ 電話番号 _____

1. 更正の請求の対象となった申告又は通知の区分及び申告書提出年月日又は更正の請求のできる事由の生じたことを知った日

_____ 年分 _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

2. 申告又は通知に係る課税標準、税額及び更正後の課税標準、税額等
次葉のとおり

3. 添付した書類

4. 更正の請求をする理由

5. 更正の請求をするに至った事情の詳細、その他参考となるべき事項

6. 還付を受けようとする銀行等	1 銀行等の預金口座に振込みを希望する場合	2 ゆうちょ銀行の貯金口座に振込みを希望する場合
	銀行 本店・支店	郵便貯金口座の記号番号 _____
	金庫・組合 本所・支所	
	農協・漁協 _____出張所	3 郵便局等の窓口で受取りを希望する場合
	預金 口座番号 _____	_____郵便局

関与税理士	印	電話番号	
-------	---	------	--

書 き か た

- ※印欄には、記入しないでください。
- 見出しの「 税」の空白部分には、相続税又は贈与税の税目区分に応じ、例えば「相続 税」又は「贈与 税」と記入してください。
- 「住所又は所在地(納税地)」欄には、提出者が個人の場合は住所を、法人等の場合は所在地を記入しますが、住所等以外の場所を納税地としているときは、住所等を上欄に、納税地を下欄にそれぞれ記入してください。

なお、現在の納税地がこの請求の対象となった申告を行ったときの納税地と異なるときは、前の納税地を現在の住所の上欄にかっこ書きしてください。

- 「氏名又は名称」欄には、提出者が個人の場合はその氏名を、法人等の場合はその名称を記入してください。

なお、法人等の場合は、「代表者等氏名」欄に法人等の代表者等の氏名もあわせて記入してください。

- 「1. 更正の請求の対象となった申告又は通知の区分及び申告書提出年月日又は更正の請求のできる事由の生じたことを知った日」欄は、例えば、次のように記入してください。

(例) 平成〇〇年分相続税申告書 平成〇〇年〇月〇日提出
 平成〇〇年分相続税決定通知書 平成〇〇年〇月〇日遺産分割

- 「4. 更正の請求をする理由」の欄には、請求理由を、例えば、次のように記入してください。

(例) 相続税の課税価格のうち、〇〇市〇〇町〇番地所在の家屋について〇〇, 〇〇〇円の
 評価誤りがあった。

- 「5. 更正の請求をするに至った事情の詳細、その他参考となるべき事項」欄には、請求をするに至った事情を詳細に記入するほか、参考となるべき事項についても記入してください。

- 「6. 還付を受けようとする銀行等」欄には、次のように還付金の支払いを受ける場合の銀行等の名称を記入してください。

預貯金口座への振込みを利用されますと、指定された金融機関の預貯金口座(ご本人名義の口座に限ります。)に還付金が直接振り込まれ、たいへん便利ですので、是非ご利用ください。

- (1) 銀行等の預金口座に振込みを希望する場合

「6. 還付を受けようとする銀行等」欄の1に記入してください。

- (2) ゆうちょ銀行の貯金口座に振込みを希望する場合

「6. 還付を受けようとする銀行等」欄の2に記入してください。

この場合、郵便貯金総合通帳「ぱ・る・る」の口座に限り振込みが可能となります。

- (3) 郵便局等の窓口で受取を希望する場合

「6. 還付を受けようとする銀行等」欄の3に、ご自身が受取に行かれる郵便局名を記入してください。